

せとうちちょう 議会だより

第145号

平成24年5月発行

発行／鹿児島県瀬戸内町議会 編集／議会報編集委員会 〒894-1592 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津 23 番地



～大島本島南部町村議会議員大会が大和村にて行われました～



大会会長あいさつを行なう
堯議長（右）
本町提出議題の提案理由説
明を行なう向野議員（左）



こんなことを決めました

第1回定例会は、3月7～27日までの21日間の日程で開かれ、当初予算議案11件、補正予算議案12件、条例議案12件、工事請負議案2件、人事議案2件、その他3件の計42件の議案を審議し、可決しました。

平成24年度各会計予算議案11件については、議長を除く9名で構成する予算審査特別委員会（委員長 岡田弘通、副委員長 向野 忍）を設置して審査を行い、最終日に委員長から審査報告がなされ、原案のとおり可決し意見書を町当局へ提出しました。（意見書は、次頁に掲載。）

なお、各会計当初予算額については町広報誌5月号に掲載のため、割愛しました。主な議案の要旨は次のとおりです。

課設置条例の改正

水産振興課を廃止、農林課を農林水産課に

行財政改革の一環として役場の機構見直しを行ない、効率的な運営を目指すため、課の統廃合を実施するものです。

主な内容は、水産振興課を廃止し、まちづくり観光課・農林課・建設課に分掌事務を振り分けるとともに、農林課を農林水産課へ改正するものです。

「せとうち海の駅」の管理に関する条例の改正

駐車場にコインパーキングを設置導入

主な内容は、「せとうち海

の駅」駐車場にコインパーキングを設置し、24時間営業を行なうことにより、観光等の利便性の向上を図るものです。

料金システムは、最初の2時間は無料で、以降30分毎に100円を加算し、1日の駐車料金の上限額を1000円とするものです。

介護保険条例の改正

月額600円～1800円のアップ（平成24年4月1日より）

主な改正は、6段階に区分されている保険料で、1から2段階が、月額2850円に（月額6000円のアップ）、3段階が月額4275円（月額9000円のアップ）、4段階（基準額）が月額5700円（月額12000円のアップ）、5段階が月

額7125円（月額1500円のアップ）、6段階が月額8550円（月額1800円のアップ）に、それぞれ改正するものです。

23 災林道災害復旧節子線（1・2号箇所）11月豪雨契約

復旧延長L1159mを行なうもので、奄美興発（株）と6174万円で契約しました。

町長等の給与等に関する条例の改正

町長・副町長・教育長の給与を平成24年4月から1年間、5%減額するものです。

一般会計補正予算 (第6号)

災害救助費等を減額

主な内容は、災害救助費6024万5千円の減額、常備消防費1989万8千円の減額、コミュニティFM放送局整備費1237万円の追加などです。
総額4440万9千円を減額しました。

副町長に 池崎輝房氏再任

監査委員に 斉藤三十六氏選任



予算審査特別委員会での
審査風景(委員会室にて)



平成24年度各会計予算審査意見 ～町当局へ提出～

1. 猪捕獲に対する補助金の増額等を行ない、駆除対策に鋭意努力されたい。
2. 平成22年、23年の豪雨被害を受けた地域(災害常襲地域)の防災対策については、早急に対応されたい。
3. 国立公園指定・世界自然遺産登録に向けての「まちづくり」について、積極的に取り組まれたい。
4. 商店街の活性化について、空き店舗活用等利用について努力されたい。
5. 足腰の強い一次産業、特に水産業の振興に鋭意努力されたい。
6. ブロードバンドの出口問題解消の為(宇検～大和～名瀬間の)空芯等を活用し、高速化の実現に努力されたい。
7. 加計呂麻島展示・体験交流館の実施設計にあたっては、関係機関と十分に協議をされ、慎重に対処されたい。
8. 実久の戦跡の整備活用について鋭意努力されたい。
9. 消防団員の増と強化に努め、安心安全のまちづくりを推進されたい。
10. 介護保険事業の円滑なる運営を図るため、介護予防事業に尚一層鋭意努力されたい。
11. 加計呂麻島からの通園児童への交通費の助成について検討されたい。
12. 老朽化した町営住宅の建替えについて検討されたい。

一般質問

第1回(3月)定例会では、6名の議員が町政全般に亘り、質問・提言を行ない議論を交わしました。一部を要約して、紹介いたします。

なお、一般質問の詳細については町立図書館にて「会議録」をご覧ください。



林 健二議員

議員 国保会計の健全化と町民の健康増進について

健康長寿で町民が生き甲斐を感じ、更には国保会計の健全化を目的とした健康増進への取り組みを強化する考えはないかお尋ねします。

町長 国保会計の健全化については、赤字解消計画に基づいて、赤字の解消を図ってまいります。

健康増進につきましては、健康づくり推進員・食生活改善推進員の方々のご協力をいただきながら、特定健診の受診率の向上を図るとともに、医療費適正化特別

対策事業を導入し、町民の健康増進に努めて参りたいと考えております。

議員 プロロードバンド環境の改善について

奄美市と連携・協力する事で、古仁屋市街地の「光」化や、出口の問題解消による、町内全域の更なる高速化ができるかと考えますが、町長の見解を求めます。

町長 奄美市が保有する光ファイバーケーブルの未利用芯線を本町で借り受けてきないか問い合わせをしておりますが、現在のところ奄美市以外へのサービスの予定はしていないとの事です。

しかしながら、利用回線数の伸びにより回線速度の低下が懸念されているところでありますので、今後奄美市並びに関係事業者等

と協議検討して参ります。

議員 文化遺産を活用した観光振興・地域活性化について

歴史的な裏付けがされた遺産である墓地等について、墓地調査(伊子茂等)を行い、文化遺産としての価値を高める事で、観光振興や地域活性化に繋げるべきと考えます。町長の見解を求めます。

教育長 瀬戸内町文化遺産活用実行委員会等により、文化遺産の調査や普及啓発活動を実施し、墓地調査や、文化財に登録されていない重要な事柄なども調査する予定と聞いております。

議員 特定国境離島保全振興法案「仮称」について

領海侵犯した中国船の不法操業の監視強化のため、離

島周辺での漁業を活性化させる事による、民間監視力を高めようという議論が高まっているが、この事に対する町長の見解を求めます。

町長 現時点で国・県からの通知や説明を受けていませんので、動向を確認していきたいと考えております。

議員 廃校跡地利用について

廃校跡地、校舎や体育館を利用した、水耕栽培による農業の振興と、それによる雇用の確保と地域活性化が考えられないか町長の見解を求めます。

町長 校区の皆さんの理解を得ながら、農業振興や地域活性化に繋がる、学校跡地の有効活用を積極的に進めなければならぬと考えております。



安 和弘議員

議員 災害対策について

1. 昨年12月の議会において、伊須集落の災害についてお尋ねしましたが、今後の対策について、再度お尋ねします。

町長 今後の対策につきましては、抜本的対策に苦慮しているところですが、現在、河川事業計画の基礎資料作成の為「測量設計業務委託」を発注しており解決策を検討したいと考えております。また、河川改修等の事業導入につきましては、特に用地の地籍調査を進めながら、集落・地権者の方々

のご理解、ご協力の上、改善に向け努めて参りたいと考えております。

議員 2. 砂防事業、急傾斜地崩壊対策事業の条件である、危険対象区域は町内何ヶ所で、その中に伊須集落は入っているのか、お尋ねします。

町長 本町の土砂災害危険箇所は、土石流危険渓流(砂防事業) 86箇所、急傾斜地崩壊危険箇所(急傾斜地崩壊対策事業) 87箇所、地すべり危険箇所(地すべり対策事業) 5箇所、山地災害危険箇所(治山事業) 90箇所の合計268箇所が危険区域とされております。伊須集落につきましては、急傾斜地崩壊危険箇所1箇所、地すべり危険箇所1箇所の山地災害危険箇所2箇所の合計4箇所が危険区域とさ

れております。

議員 水産業の振興について

1. 平成20年〜23年までの漁協に於けるセリ高はどのようになってるか、年度別に教えていただきたい。

町長 漁協に於けるセリ高は、平成20年11万5127kgの7396万6千円、平成21年11万2050kgの6643万8千円、平成22年9万8454kgの5816万8千円、平成23年8万6559kgの5866万円と推移しております。

議員 2. 漁船の燃費は現在どのようになってるのか、最安値の時はいつで、その数値を伺います。

また、燃料費に対する直接補助は考えられないか伺います。

町長 漁船の燃油価格(A重油)は、平成24年2月現在で1リットル当たり税抜きで97円で、最安値は過去10年間で平成14年の1リットル当たり税抜きで46円となっております。また、燃料費に対する直接補助については、他業種等への公平性や燃油価格の設定基準等の課題がありますので、県や漁協と協議をしながら検討していきたいと思

います。

議員 海上自衛隊奄美基地分遣隊の現状について

① 現在の隊員数と最も多かった頃はいつか。また、隊員数が少なくなった原因とこれまでに我が町に貢献してきた事例を伺います。

② 昨年の豪雨災害時の入院患者搬送においての分遣隊の担った役割は大なるも

のであります。我々町民として、町当局として増員に向けての運動を起すべきと思

いますが考えを伺います。
町長 ①現在の隊員数は18名で、最も多かった頃は昭和56年の58名となっております。また、隊員数減の大きな要因は、平成9年に古仁屋港に配備されていた特務船「むづき」が退役し、乗員25名が引き揚げたことによるものと認識しております。

②隊員数の増に向けた運動ですが、議会に設置された特別委員会、自衛隊父兄会、隊友会及び町防衛協会の4団体の代表で構成する「海上自衛隊拡充及び陸上自衛隊誘致推進協議会」を設立し、先般、国会議員、防衛省幹部へ直接要望書を渡し、概要説明をしたところであります。



岩井義照議員

議員 国旗及び国歌に

ついて

国旗国歌は、国家国民を象徴するシンボルとして1999年8月13日国旗国歌法が法律化され国民は国を愛し、人を愛し、日本国民として世界が認める絆が強い国民性に誇りを感じます。町長・教育長の国旗国歌法についての見解をお尋ねします。

町長 国旗国歌法について

の見解ということですが、日本人が受け継いできた「日章旗」を国旗とし、「君が代」を国歌とすることを明記した法律の制定に特別な見解を持つものではありません。

ません。

教育長 「国旗及び国歌に

関する法律」として法令化されておりますので、尊重したいと考えております。

また、学校には「校歌」、

我が町には「町民歌」があるように、世界の国々が国旗、国歌を持っており、それを重んじることは大切なことであり、国の象徴として国民の気持ちが大切にされなければならないと思います。

議員 職員の綱紀肅正

について

職員の綱紀肅正についてお尋ねします。

町長 職員の服務について

は、地方公務員法、町条例・規程の遵守はもとより、毎朝の町民憲章の放送、昼の町政指針の放送による町民

として、さらに公務員としての心がけるべきことを喚起し、毎月の朝礼、課局長会において常に住民の目線に立って事務事業を遂行するよう訓示をしているところであります。

議員 災害復旧につい

て

昨年の豪雨災害で発生した災害の復旧率をお聞かせ下さい。

町長 町道13路線28箇所、

河川10河川14箇所、清水公園1箇所、林道7路線32箇所、農地・農業施設3件の計78件であります。現在、復旧へ向け発注に取り組んでおります。

議員 バス運行につい

て

山郷や西方から運行しているバスはお年寄りが利用

しているが、役場前が終点であるため、へき地診療所までは歩きか、タクシーを利用しなければならぬ不便を来たしています。運行経路の変更はできないのかお尋ねします。



岡田弘通議員

議員 世界自然遺産登

録について

①「メリット」、「デメリット」について。

② 屋久島の自然遺産登録前後の人口動態と観光客数について。

③ 先例地の屋久島等を調査され、国・県の施設を本町を含めた南部地域に誘致し、

町長 平成24年4月1日の実施に向けて、現在、運行している事業所において、運行経路延長の申請書を国へ提出しております。

地域の活性化に努めるべきではないか。

町長 ①予想される「メリ

ット」については、世界的に優れた自然があるというお墨付きが得られ、知名度が上がり観光客増加と地域の雇用創出が考えられる。「デメリット」として、ガイドツアーが増加して自然

荒廃の懸念とサービス産業のみの利益が考えられる。

②屋久島の人口は横ばいであり、観光客は増加している。
③屋久島等を調査し、

国・県の施設誘致については、大島本島南部振興協議会等において検討して参ります。

議員 奄美群島成長戦略ビジョンについて

このビジョンの策定は、奄美広域事務組合が中心になって行なうが、まずは本町の戦略ビジョンを策定し、広域事務組合と協議すべきと思うが、現在の取り組み状況について伺います。

町長 この協議のスタートラインによく立ったところであります。

本町も広域事務組合がまとめた「農業・観光／交流・情報・文化・定住」の振興計画基本方針に沿って、本町に関わるビジョン策定に努めて参りたい。



議員 向野 忍

議員 地域活性化・雇用創出対策について

「平成24年度施政方針」において、「本町が将来に渡って自立的発展を成し遂げていくためには、持続した雇用の場を創出し…」とされているが、雇用創出対策について平成24年度予算編成にどのように反映したか伺います。

町長 鹿児島県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業を活用し、農林課関係で11人、教育委員会社会教育課関係で4人、合わせて15人の雇用創出を見込んでいます。

議員 地域別振興政策について

一、加計呂麻島・与路島・請島の位置付けについて町長は「本町の観光振興、農業振興においてなくてはならない宝の島である」とされた。では、その宝を活かすため、島別の具体的な振興方策について伺います。

町長 加計呂麻島・与路島・請島とも農業振興においては、サトウキビの安定生産、キク等の収益性の高い施設園芸、地場向け野菜、放牧経営を基本とした低コストな肉用牛子牛の生産拡大等を図りながら、黒糖や「かけるまキビ酢」等の特産品の生産振興を促進し、販路拡大を図っています。

議員 二、「特定離島ふるさとおこし推進事業」のこれまでの成果と今後の活用につ

いて伺います。

町長 昭和44年度から平成23年度まで産業振興、生活基盤の整備、ソフト対策等住民に密着した事業を実施しており、42年間で約62億円にも上る事業総額となっております。

今後は、共同利用農業施設整備（パッション・マンガー等）や農林水産物出荷施設や畜産振興施設整備等、収益性の高い農業振興に努めて参りたいと思います。

観光振興においては、PR推進事業による交流人口の増、島案内人育成講座等のガイド養成を行い世界自然遺産登録に向けた受け入れ態勢の整備等にも活用して参りたいと思います。

議員 「6次産業化」の取り組みについて
2010年10月、「6次産

業化法」が成立し、農水省は、農林水産物の生産や加工、販売を一体的に手がける「6次産業化」に重点的に取り組むとしている。地域再生・活性化の切り札として、本町も他市町村に乗り遅れることなく取り組むべきでは。

町長 6次産業化を推進するにあたっては、生産・加工・販売と総合的な課題等が多々ありますので、県及び国の関係機関の指導を仰ぎながら、検討したいと思います。

その他の質問
○「奄美群島成長戦略ビジョン（仮称）」策定について（本町の関わり方等）
○奄美群島振興開発事業における非公共事業について（実績と計画等）



鎌田愛人議員

追跡・あの質問、その後 どうなった

議員 防災について
請島・与路島の救急搬送
について

①看護士が島を離れる場
合、報告義務があるのか。
②同様に、消防分署への
連絡体制が取れているか。

保健福祉課長 ①へき地
診療所の看護士長と集落
区長に連絡する体制を取
っています。

総務課長補佐 ②その体
制は取れていません。

議員(指摘) 看護士が島

にいない時のマニュアルを
明確にしておくべきである。

議員 観光について

加計呂麻島展示・体験交流
館建設について、今現在の進
捗状況は。

町長 基本設計の発注・建
設用地の購入をしております。
今後各検討部会にお
いて協議を行い、平成26年
度の開所に向け取り組んで
まいります。

議員(指摘) 事業費1億
6千万円ありきではななく、こ
れからの加計呂麻の観光地
としてのあり方、世界自然遺
産登録も踏まえて、慎重に検
討するようお願いしたい。

議員 自衛隊の誘致(陸
上)及び拡充(海上)活
動について

昨年12月以降の活動内容

教委総務課長 今後、企画

は。

町長 平成24年2月24日、
協議会長他10名参加のもと、
地元選出国会議員の案内に
より防衛省へ海上自衛隊に
ついては、奄美基地分遣隊
所属艦艇の配備、陸上自衛
隊については、新編部隊配
置の要望書を提出いたしま
した。

議員(指摘) 今回、国会
議員は自民党だけだったが、
今後は政府、民主党、公明党
を含めて、要望活動をしてい
ただきたい。

議員 教育行政につ
いて

一、古仁屋高校の存続・活
性化について

古仁屋高校存続協議会(仮
称)の発足はどうなったか。

二、児童・生徒の九
州・全国大会出場補助金の見
直しをされたのか。

課内に事務局を置き、各種
団体・事業所等も含めた町
全体での支援対策を講じな
ければならないと考えてお
ります。

議員 一、児童・生徒の九
州・全国大会出場補助金の見
直しをされたのか。

社会教育課長 「瀬戸内町
各種大会に対する補助基準
要綱」の見直しを行い、複
数のチームの出場資格があ
る大会についても、補助の
対象とします。

議員 三、部活動外部指導
者(大会引率)旅費補助につ
いて。

社会教育課長 今後、教委
総務課との協議を図りなが
ら検討を進めてまいります。

～議会を傍聴しませんか～

次回の定例会は6月に行われます。どなたでも傍聴できますので、

お気軽に議会事務局へお問い合わせ下さい。(72-1072 直通)

委員会活動

第1回定例会では、総務経済常任委員会（向野 忍委員長）、文教厚生常任委員会（鎌田愛人委員長）に付託されていた案件に対しての委員長報告がなされました。

（要旨は次のとおりです。）

総務経済常任委員会

『蘇刈湾の浚渫・棧橋の整備
についての陳情』

『平成23年11月2日に発
生した豪雨災害緊急対策に
ついての陳情』

『11・2手安川豪雨災害対
策についての陳情』

『瀬相集落豪雨災害対策に
ついての陳情』

4陳情を採択

町観光協会・マリンステ
イション奄美、そして伊須
集落、嘉鉄集落、蘇刈集落、
手安集落、瀬相集落より出
されてきました4件の陳情
を12月26日に現地調査を
実施し、2月28日に町当局
の今後の取り組みについて
の説明を受けました。

『蘇刈湾の浚渫・棧橋の整
備』についての陳情』では、委

員より「災害緊急時には陸
路だけでなく海路の確保も
重要であることが、今回の
豪雨災害で再確認された。
早急なる対応を県へ強く要
望すべきである。」との意見
がありました。

『平成23年11月2日に
発生した豪雨災害緊急対策
についての陳情』では、委員
より「嘉鉄、蘇刈、伊須の
3集落は、平成22年10月、
平成23年11月と2回続け
て豪雨災害の被害を受け、
しかも同じ箇所が災害を受
けている。早急なる復旧作
業に努めると共に抜本的対
策を講じるべきである。」と
の意見がありました。

『11・2手安川豪雨災害
対策』についての陳情』では、
委員より「砂防ダム（砂防
堤）の整備については、早
急に県へ進達されたい。」と
の意見がありました。

『瀬相集落豪雨災害対策

』についての陳情』では、委員
より「県との連絡を密にし、
確実なる災害対策を講じる
べきである。」との意見があ
りました。

以上の現地調査及び審査
を踏まえた結果、全会一致
で採択と決定しました。

文教厚生常任委員会

平成23年11月2日に発生
した豪雨災害緊急対策につ
いての陳情中、『集落水道施
設の改修（崩壊防止）と維持
管理の助成並びに支援につ
いて』を採択

蘇刈集落、伊須集落から
出されてきました「集落水
道施設の改修（崩壊防止）
と維持管理の助成並びに支
援」についての陳情」を12月
26日に現地調査を実施し、

2月16日、3月9日に町当
局の今後の支援措置への考
え方の説明を受けました。
委員より「これまで集落水
道は予算化されていなかっ
たが、24年度は予算化され
たのか」との問いに対し、
場所は特定せず予算化して
いるとのことでした。

また、集落水道施設整備
事業補助金要綱の案は準備
できているので、要綱が決
定したら蘇刈集落の集落水
道施設の管理道路について
は、なるべく早めに崩土土
砂の除去作業を実施したい
とのことでした。

伊須集落の取水場への取
り付け道については、まだ
答えが出せないでいるとの
ことでした。

以上の現地調査及び審査
を踏まえた結果、全会一致
で採択と決定しました。
なお、次の意見を町当局
へ提出しました。

『集落水道施設の改修(崩壊防止)と維持管理の助成並びに支援について』審査意見

1. 蘇刈集落水道施設については、浄水場の管理道路の整備及び浄水場下側の法面の崩壊対策については、建設課、総務課及び集落と協議し、早急に整備され、安定供給を図られるよう支援されたい。
2. 伊須集落水道施設については、取水場の取り付け道路についても、建設課、総務課及び集落と早急に協議し、安定供給が図られるよう支援されたい。
3. 集落水道についての維持・管理については、補助金要綱等を早急に策定され、支援・助成について努力されたい。
4. 統合可能な施設については、早急に検討され、簡易水道施設として、管理・運営されたい。

大島本島南部議会議員大会

～大和村にて開催～

第30回大島本島南部町村議会議員大会（宇検村、大和村、瀬戸内町の3町村で構成）が、4月17日（火）大和村中央公民館で開催されました。

大会では、3町村の抱える課題解決に向けて、それぞれの町村が懸案事項を議題として提出し審議しました。

本町からは、「国道58号線（奄美市住用町役勝～網野子トンネル起点間、阿木名～勝浦間）の改良促進について」（向野 忍議員が提案理由説明）を提出し、採択されました。

大会当日には、公務ご多忙の中、打越あかし衆議院議員、禧久伸一郎県議会議員御両名の先生の御出席を賜わり盛大に執り行われました。

また、議員大会後、NPO法人ディ！（あまみFMディ！ウエイヴ）理事長兼放送局長 麓 憲吾氏が「地域が育てる島ラジオ」と題し、講演を行ないました。



国政報告を行なう打越あかし代議士（右）
議員研修会にて講演を行なうNPO法人ディ！麓憲吾理事長（左）



編集後記

梅雨真っ只中、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

昨年は、東日本大震災、また奄美大島南部豪雨災害は、本町に甚大な被害をもたらしました。現在は、国・県・関係機関等のご尽力により復旧・復興が着実に進んでいるところですよ。

今年は辰の年、龍が天に向かって昇るように飛躍の年にしたいものです。

地方主権の時代、我々地方議会の役割・使命を自覚し活動していきます。

町民の皆様、叱咤激励をお願い致します。（向野）

議会報編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 向野 忍 |
| 副委員長 | 鎌田 愛人 |
| 委員 | 堯 文俊 |
| 〃 | 岡田 弘通 |
| 〃 | 林 健二 |
| 〃 | 吉見 洋和 |